

木

生かす

森林を再生可能な資源として活用するため
国産材の新たな需要の開拓、
供給体制の構築が進みつつあります。

取材・文／下境敏弘 イラスト／あべかよこ



宿毛（すくも）商銀信用組合本店は金融機関では全国的にも珍しい木造の施設。



JR九州の特急「かわせみ やませみ」は内装に人吉（ひとよし）・球磨（くま）産ヒノキなどを使用。



多摩産材を使ってリニューアルされた東急池上線の戸越銀座駅ホーム。写真提供／東急電鉄

昔から木の文化を
築いてきた日本

「木は二度生きる」と言われています。一度目は樹木として、二度目は伐採されたあとに木材として生きるという意味です。法隆寺では、1300年以上前の木材がいまだに生き続けています。

日本は国土の約3分の2が森林に覆われた世界有数の森林国。このため、日本人は昔からその恵みを受けながら、住宅などの建物だけでなく、家具や食器といった身

の回りのものなどに木材を使う木の文化を築いてきました。

最近では、技術の進歩による耐火性や耐震性などの向上で、比較的大きなビルや商業施設でも木造建築物が次々に誕生しています。

日本の森林を
「生かす」ために

日本の森林の約4割は、人工林と呼ばれる主に木材生産のために戦後、人の手で植えられたものです。この人工林が本格的に利用できる時期を迎えています。その一

方で、木材価格の低迷や林業の担い手不足などで、木材として利用されないままとなっているところもあります。

そこで、高性能林業機械といった技術の導入などにより、安定的かつ効率的に山から木を伐採して木材として供給したり、これまで国産材が使われてこなかった分野で新たな需要を開拓したりする取り組みが始まっています。

このように、今、育てられた森林を「木って生かす」動きが全国各地で進みつつあります。

人工林のほとんどが針葉樹林



針葉樹（ヒノキ）



広葉樹（トチノキ）

スギやマツ、ヒノキなど葉が細い木を針葉樹、サクラやトチノキなど葉が広い木を広葉樹といいます。日本では人工林と天然林の面積の割合は4対6。人工林のほとんどが針葉樹です。針葉樹はまっすぐ伸びる性質から住宅の柱や梁（はり）などの構造材に多く利用されます。曲がって伸びがちな広葉樹は、針葉樹に比べて堅く重いため家具などに適しています。

森の循環と私たちの暮らし

森林と「持続可能な開発目標（SDGs）」



2015年に国連サミットで採択された2030年までの国際開発目標「2030アジェンダ」では、17の目標からなる「SDGs」が掲げられました。森林は、「陸上資源」（目標15）において、持続可能な森林経営の促進や森林減少の阻止、新規・再植林の大幅増加などが定められているほか、その他の多くの目標にも関連しています。



間伐材を使った製品

森林を育てる過程で間引いて伐るのが間伐。伐った木は割りばしや鉛筆、紙などの原料として活用されます。

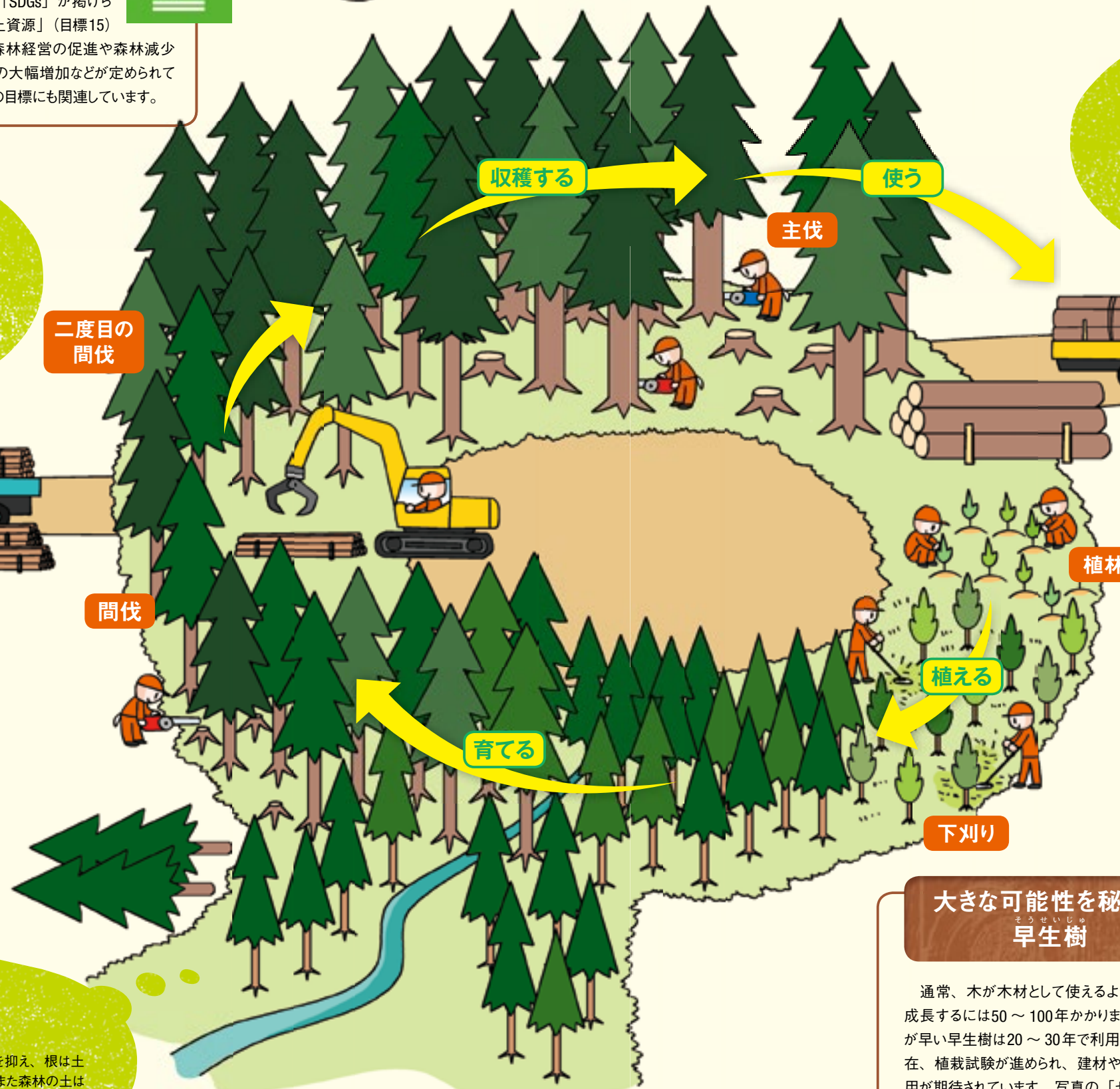


「森林環境税」の創設

地球温暖化防止や国土の保全等の機能を持つ森林を適切に管理していくために創設されるのが、森林環境税（仮称）です。森林の恩恵を受けている私たちみんなが森林づくりを支えていくため、2024年度から個人住民税に国税を上乗せする形で納税者1人当たり年間1,000円が課税される仕組みです。この税は市町村が行う森林整備等に充てられます。

森林がもつ災害防止機能

森林の下草や落葉は雨による土の流出を抑え、根は土や石を固定して土砂の崩壊を防ぎます。また森林の土はスポンジのような構造で、水を蓄え、少しずつ河川に流します。この働きにより、洪水を緩和することができます。



木材供給だけでなく、環境保全など多くの面で私たちの暮らしに役立っている森林。木を「伐って、使って、植えて、育てる」という持続的なサイクルが重要です。

住宅や家具になっても地球温暖化防止に貢献



地球温暖化の原因の一つとされる二酸化炭素を吸収した木は、伐られたあとも炭素を保ち続けます。このため、住宅や家具として利用される間も、効果は持続します。

コンテナ苗を使った植林の効率化

コンテナ苗（写真左）の特徴は、根鉢の形状の均一さ。植林の際は地面に穴をあけて差し込み、軽く踏み固めるだけなので、技量は不要です。作業時間が短縮され、各地で導入が進められています（写真右は一般の苗）。



写真提供／森林総合研究所九州支所

大きな可能性を秘める早生樹

通常、木が木材として使えるようになるまで成長するには50～100年かかりますが、成長が早い早生樹は20～30年で利用が可能。現在、植栽試験が進められ、建材や家具への利用が期待されています。写真の「センダン」の例では、植えたときは70cmほどの苗木が、わずか2年で7mを超えました。

